

	3歳児		4歳児		5歳児		
	発達の特徴		発達の特徴		発達の特徴		
健康	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な運動機能が伸びる 全身のバランスが取れてくる ケンケン、三輪車をこぐなど「～しながら～する活動」がで始める 食事、排泄、衣服の着脱などほぼ自立できるようになる 	<p>2歳～3歳時期</p> <p>行きつ戻りつ揺れ動きながら成長</p> <p>自我の拡大と自立が芽生える (2歳半～3歳)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 全身のバランスをとる能力が発達し、体の動きが巧みになる 様々な運動、遊びに自分から取り組む(片足ケンケン、スキップ、目標に向かってボールを投げるなど) 遊具や用具の使い方に慣れる 簡単なルールのある遊びを楽しむ 生活に必要な習慣が身に付き、自分でできることは自分で行う 	<p>発達の節目(4歳半ばころ)</p> <p>自分の欲求と周囲の状況の間で折り合いをつける</p> <p>言葉で行動を調整し、友だちの中で自制心が育つ (4歳～5歳半)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 運動機能がますます伸び、喜んで運動遊びをする 友だちとともに活発に遊ぶ 危険な物や場所を知り、安全に気をつけて、遊具や用具を正しく使う 見通しをもった生活ができるようになる(園生活の決まり、当番活動、遊びの準備、片付けなど) ルールのある遊びに参加する 	<p>幼児期の総仕上げ</p> <p>「学力の土台」を築く</p> <p>*中間的世界をつくる</p> <p>二つの世界を対比するだけでなく、違いの中に共通点を見出す</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の力を出し、競い合ったり応援し合ったりして、全身を動かして遊ぶ 様々な運動、遊びを通して、進んで物事に取り組む 生活や活動の見通しがつくようになり自主的に生活を進めようとする 清潔を心掛けたり、マナーを守って食事をしたりして心地よく過ごせるようになる 自分の成長を感じ、就学への喜びや期待を膨らませる
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 自我がよりはっきりしてくる 友だちとの関わりが多くなる 自分を「ぼく」「わたし」と認識し表現したり、フルネームを意識し始める 簡単なルールのある遊びを身近な大人と楽しむ 	<p>*自我の充実</p> <p>他人をくぐって自分がわかる(自分のつもりだけでなく、相手のつもりがわかる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に遊ぶ 少しずつ自分の気持ちをコントロールできるようになる「～だけれども」 身近な人の気持ちがわかり、自分の気持ちに折り合いをつける「～だけれども・・・する」 規範意識が芽生える 	<p>*内面の育ち</p> <p>調整する力 「～しながら～する」</p> <p>自制心の形成へ 「～だけれども～する」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりの心が育ち、お互いを認める 自己主張のぶつかり合いの中から自分たちで解決しようとする 仲間の一人として自覚や自信がもてるようになる 自立心が育ち、達成感や自己有能感をもてるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 大中小など3次元の表現 系列化 「だんだん～する」力とともに自分の行動をだんだん調節する 過去、現在、未来という大まかな時間関係を把握し、過去、未来を現在に照らして吟味しようとする すじみち 心の中で筋道立てて考え、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士で意見を調整し、折り合いをつけて解決しようとする 友だちと役割を分担し、互いに考えを出し合い、協力して遊びや生活を進める 社会の規範意識が身に付き行動する(公共のマナー、交通ルール)
環境	<ul style="list-style-type: none"> 身近な素材を使って、自由に描いたりつくったりすることを楽しむ 生活の中で、色、形、数、大小、多い少ないなど違いに気付く 数の選択(たくさんの中から3個選ぶ)や数の復唱では3まで可能になり、4に挑戦し始める 簡単な折り紙を折る 	<ul style="list-style-type: none"> 二分的評価(良い-悪い、できる-できない、得意-苦手) <p>基本的生活習慣の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身近な素材を使って、遊びに必要なものをつくる 生活の中で必要に応じて数を数えたり、量の大小を比べたりする 自然など身近な環境に積極的にかかわる 様々なものの特性を知りそれらとの関わり方や遊び方を知っていく 	<p>決まりやルールを守る力</p> <p>話し言葉の形成(一応の完成期)</p> <p>経験したことを言葉にできる</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材を使って、自分なりに工夫して表現する 身近な自然に触れ、美しさや季節の変化に興味をもつ 	<p>書き言葉の獲得の土台</p> <p>↓</p> <p>8、9歳につながる力 自分の経験や感情を人に説明して伝わる(文脈形成力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージしたことを、様々な素材や用具を選んで描いたりつくったりする 文字や数を使った遊びを繰り返し楽しみ、自分たちの遊びや生活に取り入れていく 身近な動植物の世話をする中で、その成長や生態に興味や関心をもつ 周囲の環境に興味や関心もち、触れる、観る、試すなど試行錯誤する
言葉	<ul style="list-style-type: none"> 語彙が増え、思いのままに感じたことを言う 盛んに「なぜ」「どうして」と質問するようになる 自分の経験を言葉で伝えることができるようになる 絵本やお話など見たり聞いたりして内容やおもしろさがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> イメージを膨らませてごっこ遊びをするようになる <p>語彙の増大 話し言葉の基礎ができる 「なぜ」「どうして」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ぼく」「わたし」を代名詞として使える 友だちとのつながりを感じながら会話を楽しむ 経験したことや、思ったこと、感じたことを言葉で伝える楽しさがわかる 	<p>思考の発達(経験をもとに言葉を使って考えるようになる)</p> <p>想像力が豊かになり、虚構の世界で遊びこめる</p> <p>体験から抽象的な思考へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文字を読んだり書いたり、数を数えたりすることに興味をもつ 体験したり感じたりしたことを言葉で表現することを楽しむ 相手にわかるように話す 因果関係や時間軸に沿った解釈ができるようになるためストーリー性のあるお話を好むようになる 	<p>教える力・導く力</p> <p>考える力や自己を調整する力、相手にわかるように伝える力、年下の子どもや相手を思う力を発揮する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 考えたことや感じたことを相手にわかるように話す その場にふさわしい言動がとれる 話をしている相手の思いを受け止めながら聞く 
表現	<ul style="list-style-type: none"> 描画では閉じた丸が描けるようになる 顔の表現が豊かになり、「頭足人」を描くようになる 日常生活で経験したことをごっこ遊びに取り入れる 		<ul style="list-style-type: none"> 描画では天地のある(太陽や地面)絵を描くようになる 想像力が豊かになり、目的をもって行動し、つくったり描いたり、試したりする 	<p>想像力が豊かになり、虚構の世界で遊びこめる</p> <p>体験から抽象的な思考へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> イメージをもってから描いたりつくったりするようになる 感じたことを描いたり、つくったり、言葉にしたりして表現する 曲の雰囲気を感じながら歌ったり、友だちと気持ちを合わせて歌ったりする 	<p>みんなの中の自分</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちとの世界をつくる 友だちと大きな目標を共有して、自分の役割を考えるようになる 力を合わせてやり遂げる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージしたように描いたり、細かな制作をしたりする 完成をイメージしながらつくり上げる 歌詞の意味を理解しながら、声をそろえて歌う 感じたことや考えたことを様々な表現方法で工夫して表す 